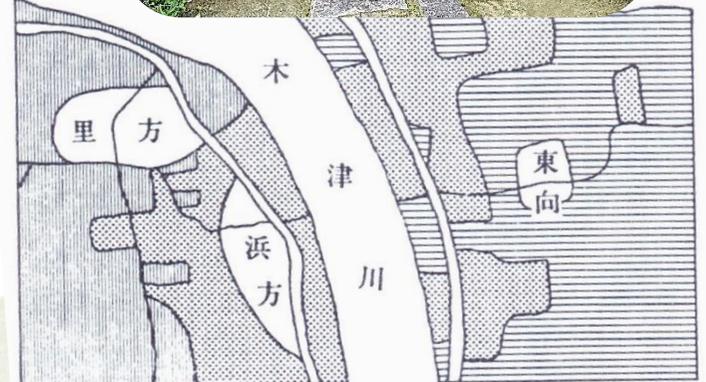


「江戸時代の農村」で上津屋村の人々の暮らし第1回目でした。2016年に「歴史を訪ねて」で伊佐家に行ってきましたが(写真右)、その地区のお話です。上津屋村の領主は幕府領(里と浜)と三条家、大炊御門家の4つです。右の図のように木津川をはさんで西側に本郷(里垣内、浜垣内)と東側が出在家(東上津屋村)との3つからなっています。この地は木津川と陸路の接点で東西南北の交通の要衝だったと言われます。渡しが頻繁に動いていたと。特に木津川の両岸に村があるので必要なことだったんですが、街道と同じ役割するくらい水路が欠かせなかったほど充実していたんですね。今では想像もつきません。



(出口さんの資料から)

- ① 日時 2023年9月28日(木)13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

**八幡まるごと館** / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07

5-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net) 作られた

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。



たんけん八幡より(江戸時代の八幡の村々)